

そよかぜ 7月 園便り

令和6年7月1日(月)

西東京市立そよかぜ保育園

今年は梅雨入りが遅く、タイミングを見てプール遊びをしていこうと思っていたのですが、まだ実施できておらず…梅雨明けを待って今月からの楽しみということにしましょう。

この季節は各クラスのプランターで実った**夏野菜**（茄子・ピーマンなど）や幼児クラスが畑で収穫してきた**ジャガイモ**を、調理保育を通して美味しくいただいています。

普段は苦手にして食べられない野菜も、あら不思議！「もっともっと！」とおかわりコール。毎日自分たちで水やりをして、「また大きくなってる！」「アリさんが食べちゃったらどうする？」など興味を持って成長を見守ってきているので、野菜をより身近に感じて味もまた格別なのでしょうね。

先日はスイカ割りも行い、これから夏本番に向けて「食」（食育）を通しての「**健康な身体作り**」に更に力を入れていきたいと思っています。

6月の最終週で年長クラスは**園内のお泊り保育**がありました。

山登りなどの活動もちろん頑張っていました、シャワーの際に頭や身体をゴシゴシ洗ってタオルで拭いて…と「**身の回りのことを自分でやる**」ことも一人一人のペースで頑張っていました。何人かの子どもたちからシャワーの後に「お泊り保育、楽しいね」という声が聞かれ、何か特別なことというよりも当たり前前の生活の中で皆と一緒に、そして自分自身でやり遂げたという経験が大きな力となると感じました。

今回のお泊り保育で私（今宮）が印象に残ったエピソードを一つご紹介したいと思います。バスの中で歌をうたおうということになり、担任の高井の方から「わらべうた」のリクエストがあったので「うのじうっさいこく」といううたをうたいました。これは皆の名前の最初の一文字を当てはめて歌っていくものです。

いまみやの「い」 「いのじいっさいこくいんじゅうじ いららんがっさいこく いっさいだるまのだるまのこ いっさらまっさらいのじが いんぎりまめじゅうさんだいず」

初めてのうたでしたが、子どもたちはとても楽しんで「次は私の〇！」と自分の名前をリクエストして、中には最初の文字ではないものも…本当に飽きずにくり返し、私も声が枯れる程（！？）歌い続けました。この経験を通して私自身ももっと普段の生活の中に「わらべうた」を取り入れようと改めて思っています。

「親子遊ぼう会」の資料でもお伝えしましたが、乳幼時期に大切なのは「わらべうた」や「あやしあそび」に始まり、「絵本・紙芝居・歌」といった「文化」を大人と子どもの間にはさむことで、同じ言葉が同じ調子で、同じ心地良さ・面白さを繰り返しながら子どもの身体に刻み込まれていく点にあります。子どもたちはそうした面白さを共有する経験を通して、他者と共有する「物語」の原型を獲得するようになっていきます。

今回のバスの中での「わらべうた」でのやりとりを通して、一方的ではなく対話的關係の中で子どもたちと文化を共有することが大切なんだと改めて強く感じました。

年長クラスの保護者の方は、ぜひ子どもたちから「わらべうた」を教えてください。

きっとまた一つ、楽しい「共有」ができると思います！



お泊り保育『日和田山』

7月の行事

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		5才みどり交流	田無第三中 職場体験	田無第三中 職場体験	七夕の会	
7	8	9	10	11	12	13
			布団乾燥		夏祭り	
14	15	16	17	18	19	20
	海の日			栗本さん 体育遊び		
21	22	23	24	25	26	27
	実習生30日まで			誕生会 避難訓練		
28	29	30	31			

▼ 職員のお知らせ

～ 配布した物をご覧ください ～

▼ 送迎時についてのお願い

送迎時にインターフォンを鳴らしていただく際、保護者の方のお顔が見えないことがあります。安全管理の為、カメラに顔が映るようにし、クラス名、お名前を伝えていただく様、改めてお願い致します。

▼ 毎週金曜日更新 Blog について

毎週、“園行事”や“お散歩に行っている公園の紹介”などを Blog にて行っています。PC やタブレットでご覧の場合はカテゴリーが見やすくなっております。

<https://soyokaze-hoikuen.net/>



あのね ママ ボク どうして うまれて きたか しってる ?
ボク ね ママ に あいたくて うまれて きたんだよ (3歳)

ママの おなかの あかちゃんの へやに ベットが 三つ あるんだよ
しいちゃんが はやおき いちばん つぎが にばん ぼくは おねぼうして しまった (5歳)

うちの おとうさんてさ みおと あそんでいるときは おっちょこちよいで ふざけているのに
みおが びょうきの ときは しんけんになるの どうしてかな (5歳)

おかあさん おこるとき 「やめてくださいね」って やさしくいってね
そうすれば 「はい」って やさしく いう
・・・じゃあ そういうことに するから ・・・
おかあさん そういう 「じゃあ」って いっちゃん いけないよ (6歳)

ママは おこりんぼうだから そうじきで すいとっちゃうよ!!
ほんとうに・・・ (3歳)

おとうさん おこるばかり おかあさん おこるばかり ねえね おこるばかり
みんな おこるばかり すーちゃん なくばかり (3歳)

いただきます って たいせつだね
だって いただきます って いわないと おいしくないんだもん
ごちそうさま も たいせつだね
だって ごちそうさま っていうと あとから ジュワッ と あじがするよ
ことば って まほうだね (小2)
「ことばの しっぼ」より

たのしかったり イヤだったり 子どもの素直な気持ち。大人の何気ない声かけや態度が響きます。
読売新聞家庭欄に「子どもの歌」が掲載され、50年余 その時々の子どもの声を採取してまとめられたもの
です。本屋さんで手にし、ハッとしたり、反省したり、微笑みながら読み進みました。
みなさんも 読んでみませんか。

(ことばのしっぼ 読売新聞生活部監修 中央公論新社)

職員のつぶやき

4月からみどり保育園の調理に移動して、早3カ月が経ちました。
保育園では毎朝、大きな寸胴鍋で昆布と鰹節で、じっくり時間をかけて出汁をとっています。
「なんかいいにおいする！なんのにおい？」など、出汁の香りに誘われ、きてくれる子もいます。
「今日はなんのお魚？」「あのみどりのお野菜なに？」など 給食室にいと、子どもたちの色々な声が
聞こえて楽しいです。普段見慣れている食材も、子どもたちから見ると色々な「？」が言葉となり、でて
くるため、一つひとつが食との大切な出会いだと感じます。子ども達への食への興味を、大切にしてい
きたいと改めて思います。普段使う食材の皮むきのお手伝いや、魚祭りなどの行事、たくさんの「食」との
出会う機会が待っています。

新しいチームで、楽しい機会や思い出をみんなと作っていきたいと思います。

西東京みどり保育園 三宅 莉沙